

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 6 月 20 日

計画の名称	1 川西市域における流域一体となった総合的な汚水・浸水対策の推進（防災・安全）		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度（5年間）	交付対象	川西市
計画の目標			

下水道老朽化対策及び浸水対策による水害に強いまちづくりにより、市民の快適で安心安全な生活の確保を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・浸水対策整備面積の増加
- ・老朽化している市内雨水ポンプ場2箇所のうち1箇所は改築を実施しており、残る1箇所についても計画期間内に改築の達成を図る。
- ・老朽化している市内雨水ポンプ場2箇所について、計画期間内に長寿命化計画の策定を図る。
- ・一般市民への雨水流出抑制に対する理解と協力を求め、降雨時における一時的な流出量の軽減を図る（9m³）。
- ・老朽化している市内汚水管渠について、長寿命化計画を策定し改築・更新を図る。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)
------------------	-----------------	-----------------

浸水対策整備面積を最終目標年度には、平成22年度末より22.9ha増加させる。

1512.7ha	1528.4ha	1535.6ha
----------	----------	----------

老朽化している雨水ポンプ場の改築実施率(%)
= 改築済み施設数 / 改築が必要な施設数(2箇所)

50%	100%	100%
-----	------	------

老朽化している雨水ポンプ場の長寿命化計画策定率(%)
= 計画策定済み施設数 / 計画策定が必要な施設数(2箇所)

0%	100%	100%
----	------	------

年間3m³の流出量の軽減を図る。
= 30件 / 年 × 0.1m³ × 3年 = 9m³

-	3m ³	9m ³
---	-----------------	-----------------

老朽化している汚水管渠を1800m改築・更新する。

-	-	1800m
---	---	-------

全体事業費

合計
(A + B + C)

1,659百万円

A

1,622百万円

B

C

37百万円

効果促進事業費の割合
C / (A + B + C)

2.2%

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

平成29年6月

川西市上下水道局の下水道事業担当部署により、事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。

公表の方法

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
2-A	下水道	一般	川西市	直接	-	雨水	新設	浸水対策下水道事業(管渠)	整備面積 = 22.9ha	川西市						535	
3-A	下水道	一般	川西市	直接	-	雨水	改築	浸水対策下水道事業(ポンプ場)	雨水ポンプ場	川西市						100	
4-A	下水道	一般	川西市	直接	-	雨水	改築	長寿命化計画策定事業(ポンプ場)	調査・計画策定・工事	川西市						820	
5-A	下水道	一般	川西市	間接	個人	雨水	新設	家庭用雨水貯留施設設置助成事業	30件 / 年 × 0.1m ³	川西市						3	
6-A	下水道	一般	川西市	間接	-	汚水	改築	下水道管渠長寿命化対策事業(管渠)	調査・計画策定・工事	川西市						164	
											小計(下水道事業)					1,622	
											合計					1,622	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
2-C	下水道	一般	川西市	直接	-	雨水	新設	枝線整備事業	整備面積 = 0.7ha	川西市						22	
6-C	下水道	一般	川西市	直接	-	汚水	改築	枝線長寿命化対策事業	調査・計画策定・工事	川西市						15	
											合計					37	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																
2-C	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、迅速に浸水対策を実施し市民の快適で安心安全な生活を実現する。																
6-C	基幹事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、管の破損による道路陥没や流下阻害を防ぎ市民の快適で安心安全な生活を確保する。																

交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水管渠を整備することにより定量指標で掲げている面積整備率が向上し、浸水被害の低減が期待できる。 ・雨水ポンプ場の改築（電気設備）を進めたことにより、機器のメンテナンス効率が向上し、ポンプ施設を安定的に機能させることが出来る。 ・雨水ポンプ場の長寿命化を含めた計画的な改築計画を策定することにより、効率的かつ経済的に機能を維持していくことが可能となる。 ・一般市民への雨水流出抑制に対する理解が深まり、降雨時における一時的な流出量の軽減を図ることが出来る。 ・布設後50年を経過する下水道管渠の不具合に起因した事故を未然に防止し、ライフサイクルコストの最小化を図ることが出来る。
------------------------------	--

定量的指標の達成状況	指標（浸水対策整備面積）	最終目標値	1535.6 ha	目標値と実績値に差が出た要因	市単独事業においても、ほかの整備すべき路線の整備を進めたため。
		最終実績値	1539.8 ha		
	指標（雨水ポンプ場の改築実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標（雨水ポンプ場の長寿命化計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標（家庭用雨水貯留施設設置による流出量の低減数）	最終目標値	9 m ³	目標値と実績値に差が出た要因	予定を超える申し込件数があったため。
		最終実績値	22 m ³		
	指標（老朽管路の長寿命化対策延長）	最終目標値	1800 m	目標値と実績値に差が出た要因	長寿命化計画策定にあたり、年次割対策延長との乖離があったため。
		最終実績値	1058 m		

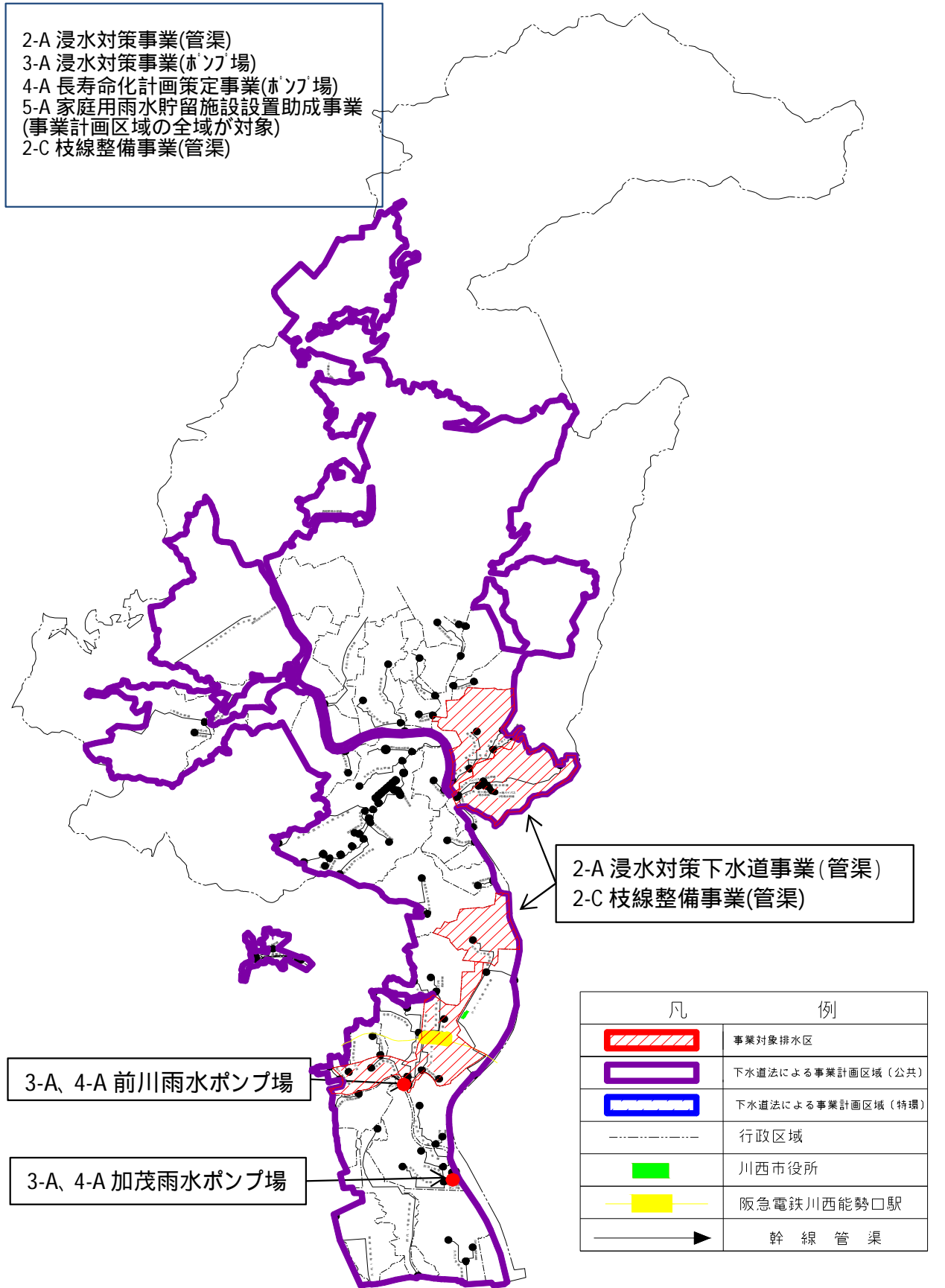
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--------------------------------------	--

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・平成23年度から平成27年度までの5年間で、社会資本整備総合計画による下水道事業を行い、定量的指標はある程度達成することは出来た。今後も雨水整備を促進し、雨水整備面積を増加させると同時に、維持管理においてはライフサイクルコストの最小化を図るという観点から、策定済みの長寿命化計画ならびに今後策定予定である下水道ストックマネジメントに基づき施設の持続的な管理・運営を図っていく。

〔参考図面〕 (雨水)

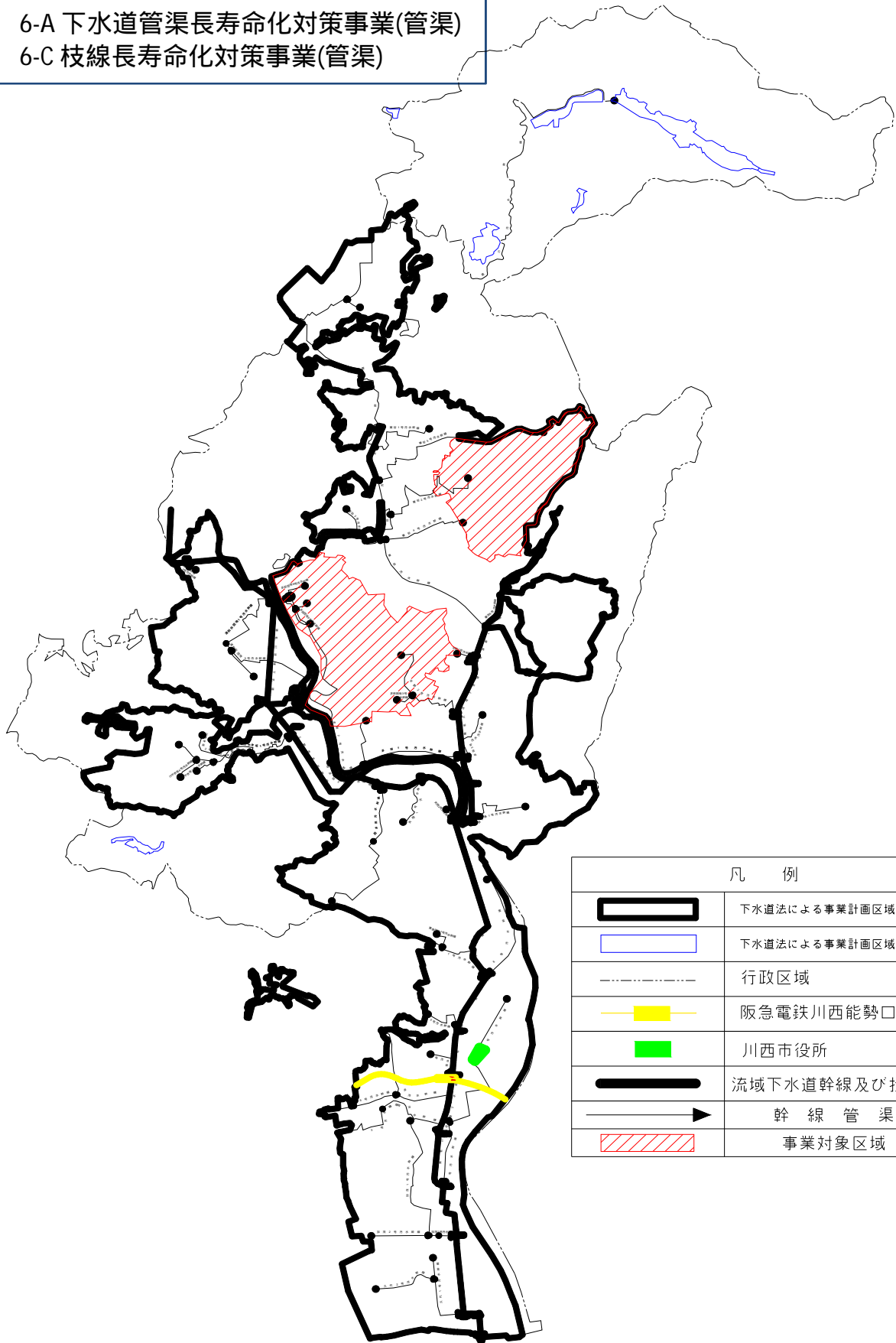
計画の名称	1 川西市域における流域一体となった総合的な汚水・浸水対策の推進(防災・安全)
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)
交付対象	川西市



〔参考図面〕(汚水)

計画の名称	1 川西市域における流域一体となった総合的な汚水・浸水対策の推進(防災・安全)
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)
交付対象	川西市

6-A 下水道管渠長寿命化対策事業(管渠)
6-C 枝線長寿命化対策事業(管渠)



凡 例	
	下水道法による事業計画区域(公共)
	下水道法による事業計画区域(特環)
	行政区域
	阪急電鉄川西能勢口駅
	川西市役所
	流域下水道幹線及び投入点
	幹線管渠
	事業対象区域